

平成24年度大学図書館近畿イニシアティブ 基礎研修「初任者研修」

研修1 資料収集業務

2012(H24)年6月28日(木)



大阪大学附属図書館 吉田弥生

E-mail: yyoshida@library.osaka-u.ac.jp

本日本話すること

大学図書館における雑誌を除く資料収集業務について

1. 資料収集業務とは

2. 資料収集業務の実際

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

1. 資料収集業務とは

資料収集業務の構成要素

狭くとらえれば、
=「受入業務」

蔵書構築/管理
の視点を忘れ
ずに。

蔵書構築
蔵書管理

資産
管理

資産
登録

予算
配分

選定
(選書)

除架

支払

受入業務

発注

資料
保存

検収

1. 資料収集業務とは -- 資料収集業務の位置づけ



本日本話すること

大学図書館における雑誌を除く資料収集業務について

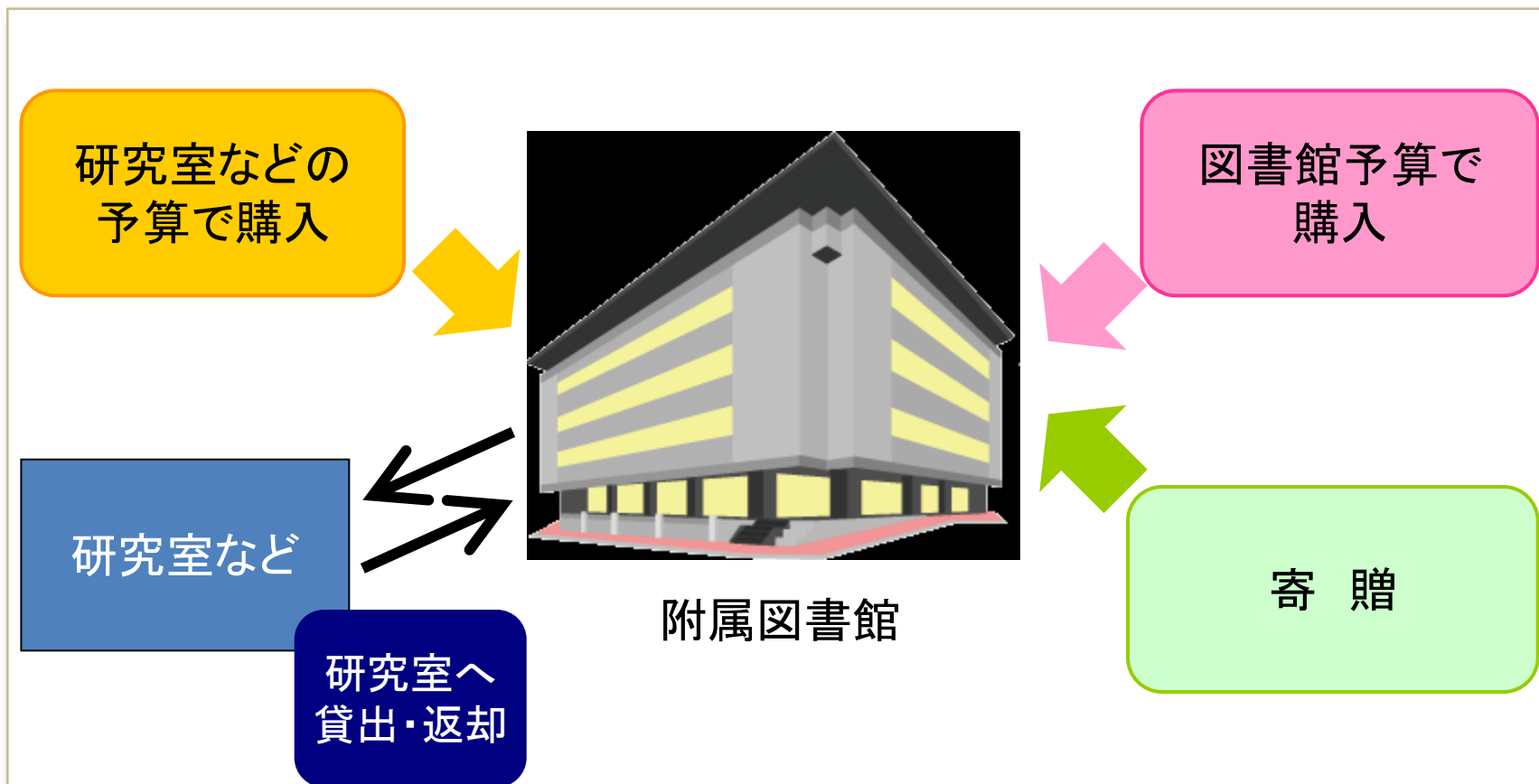
1. 資料収集業務とは

2. 資料収集業務の実際

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

2. 資料収集業務の実際

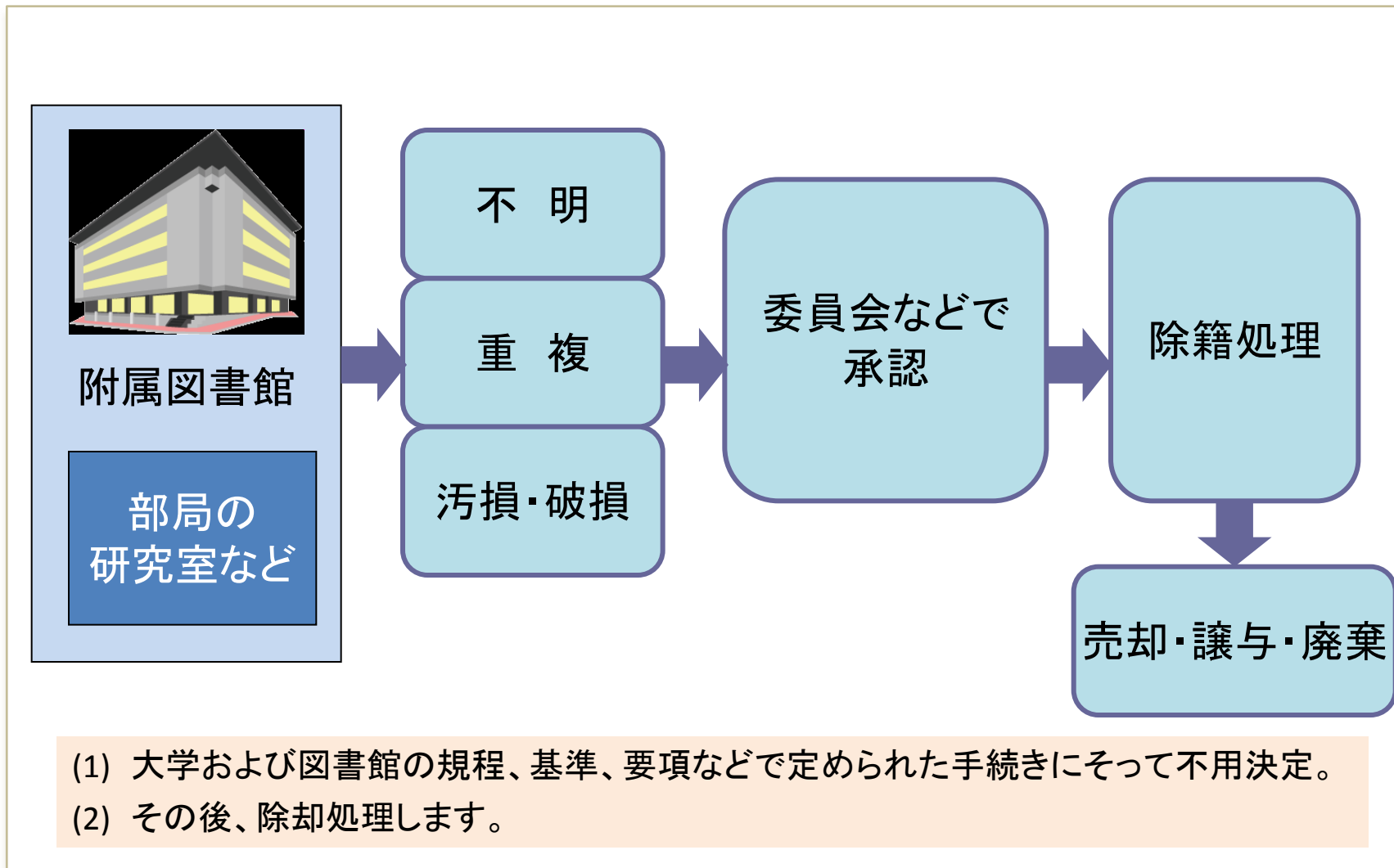
2-1. 資料の流れ(1) 入ってくる経路



「図書」は資産(図書、雑誌、視聴覚を問わず「図書資産」と呼びならわす)。資産とする範囲や基準は、大学の種類や各大学の規定により、異なります。

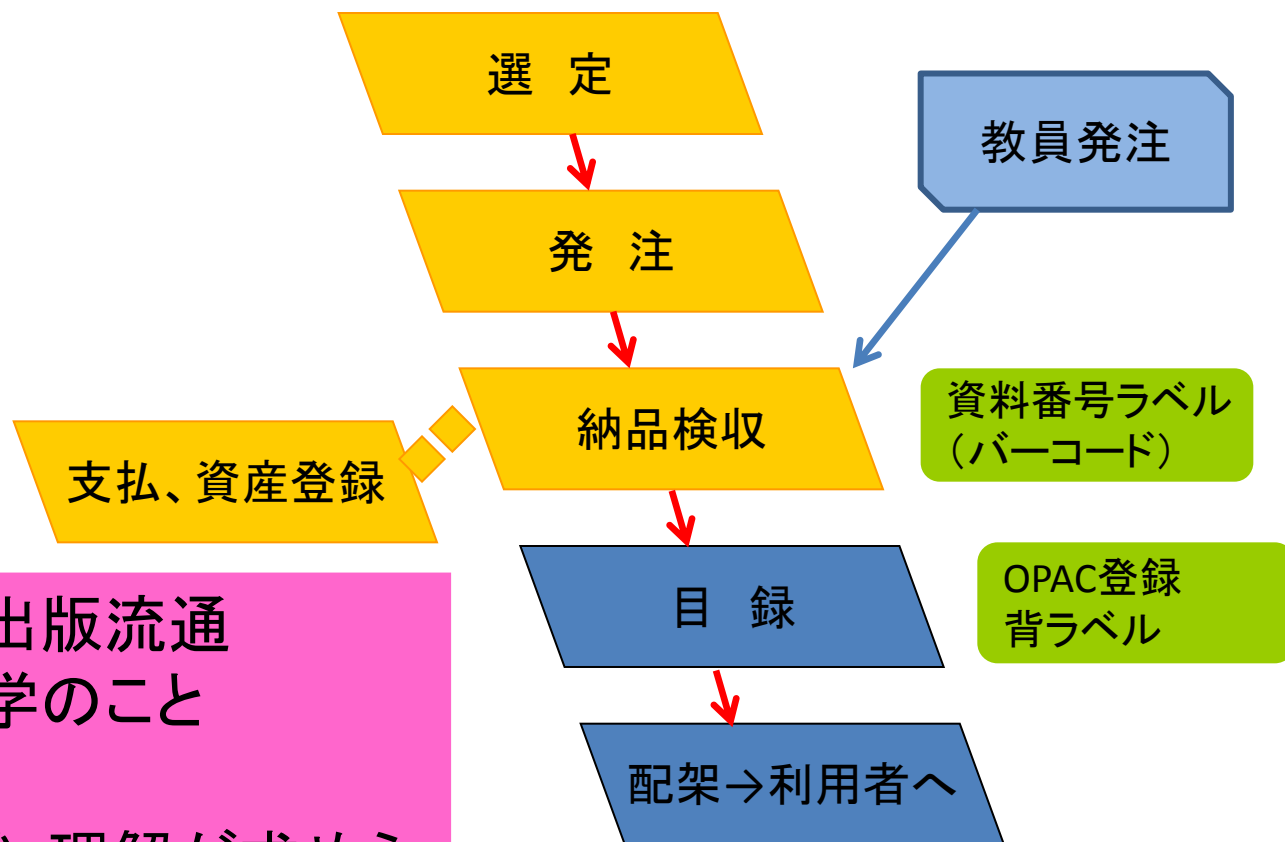
2. 資料収集業務の実際

2-1. 資料の流れ(2) 出ていく経路



2. 資料収集業務の実際

2-2. 資料の受入処理の流れ



・学術資料、出版流通
・利用者、大学のこと
・会計事務
に対する知識・理解が求められる

2. 資料収集業務の実際

2-3. 必要とされる知識、理解 (1)

学術資料、出版流通に関して

資料の種類 : 発行形態 × 媒体 → 多種多様化

- 図書(印刷体/電子体)
- 逐次刊行物(印刷体/メディア/オンライン)
- 視聴覚資料
- マイクロ資料
- データベース(メディア/オンライン) etc.

出版流通

- 書店ルート (出版社→取次→書店)
- 直販ルート
- 非売品

2. 資料収集業務の実際

2-3. 必要とされる知識、理解 (2)

利用者、大学のこと

- サービス対象とする利用者のニーズ
- どのような教育・研究活動がなされているか
- 最新のトピックスをキャッチ

2. 資料収集業務の実際

2-3. 必要とされる知識 (3)

会計事務に関して

個々の大学の規定

- 会計規程、実施規則、事務取扱要領
(経理/予算/契約/決算/資産管理etc.)
- 図書館の規程、内規(会計事務に関する所掌など)

上記以外の規定

- 外部資金それぞれに定められた取扱い
例)「科学研究費補助金取扱規定/要領」(取得図書 of 寄付等)
- **【国立大学の場合】**
「国立大学法人等会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」報告書
「[同]」実務指針

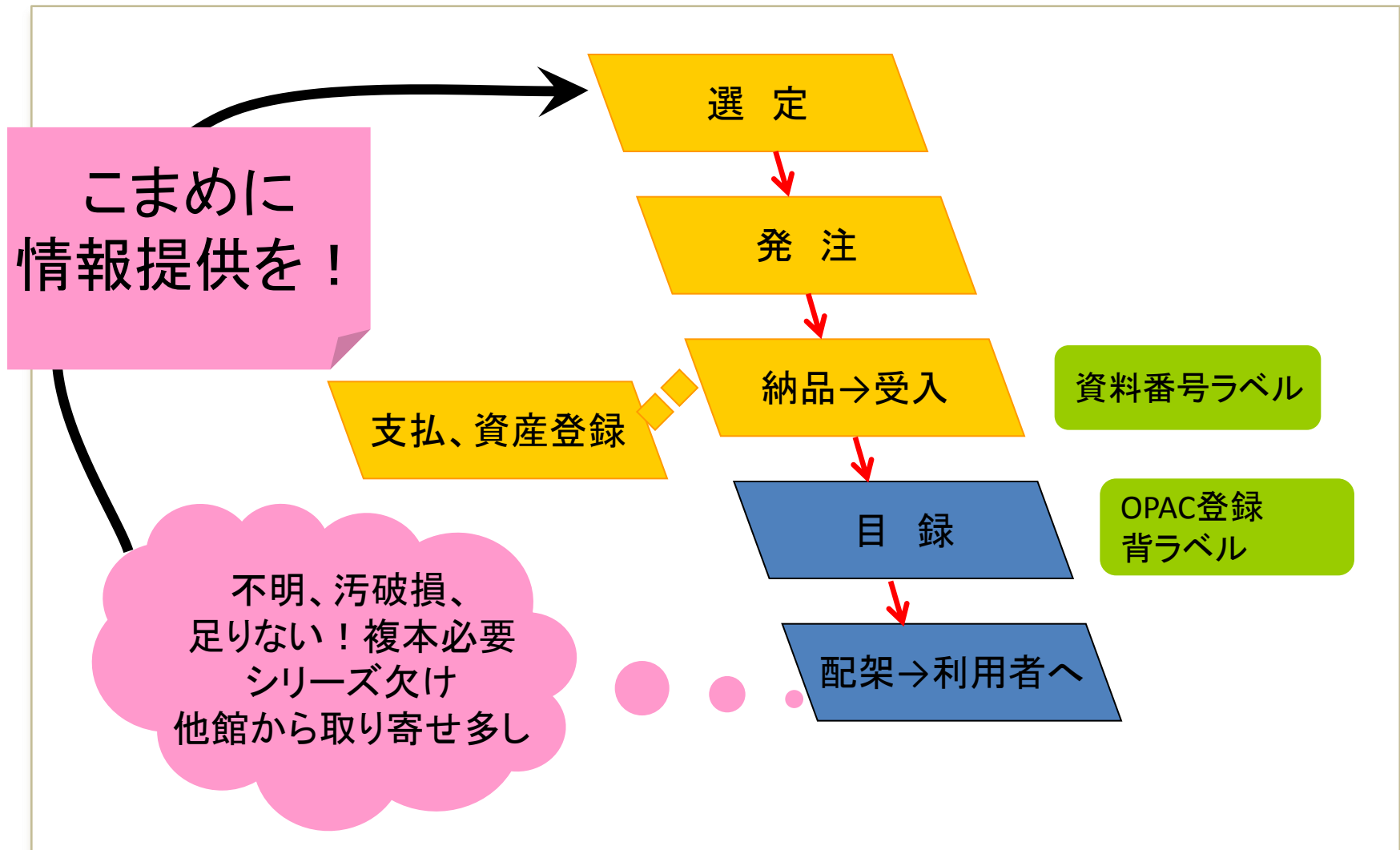
2. 資料収集業務の実際

2-4. 個々の処理 (1) 選定

- 誰が？ 教員、図書館員、学生、利用者全般(リクエスト)
- 体制 選定委員会、推薦依頼、チーム、個々 etc.
例) 学生選書、学生スタッフ
- ツール
 - シラバス
 - 印刷カタログ 取次(日販「ウィークリー出版情報」、各出版社、書店)
 - 書評 「週刊読書人」、「図書新聞」、「出版ニュース」、新聞各紙
 - 書店のWebサイト BookWeb[Pro]、PLATON(紀伊国屋)
KnowledgeWorker(丸善)、
ネットストアHON(ジュンク堂) etc.
 - そのほか、もろもろ 出版社HP(重版情報など)、文学賞、各種企画
 - 見計らい(現物を預かり、直接手に取って判断)、店頭選書

2. 資料収集業務の実際

2-4. 個々の処理 (1) 選定 各所からの情報提供も大切



2. 資料収集業務の実際

2-4. 個々の処理 (2) 発注

- 事前チェック

1. 予算の残額 (選定段階でも)
2. 重複チェック (発注中、所蔵済み)
3. 視聴覚資料→著作権処理 (単体/付属資料)

(参考)「大学図書館における著作権問題Q&A(第8版)」

国公立大学図書館協力委員会、大学図書館著作権検討委員会
2012.3.23 http://www.janul.jp/j/documents/coop/copyrightQA_v8.pdf

4. 入手可否

書店店頭在庫、日本書籍出版協会「Books.or.jp」、Amazonも参照...

古書でもよければ、取引書店へ照会、「日本の古本屋」で検索
洋古書は紀伊国屋書店BookWebでも検索可。

2. 資料収集業務の実際

2-4. 個々の処理 (2) 発注 (続き)

大学で規定された取引条件に合わなければ、発注はできない。

発注先の決定

- 書店の在庫状況、得意分野 → 入手スピードに影響
- 書店によって、価格の異なることもある
 - 特価、仕入れルート(洋書=海外取寄/国内仕入)
- 発注方法(選書～発注までオンラインでできるところも)

ノウハウはたくさんある！
人員体制、
業務にかけられる費用、
書店に対応いただける範囲、
などさまざまな要素がある。

購入価格は、オンライン書店に表示されている価格とは異なる。
(四半期単位くらいで通貨別購入レート設定)

2. 資料収集業務の実際

2-4. 個々の処理 (3) 納品検収

- 納品検収とは、、、以下を確認する作業
 1. 発注内容と納品されたものに間違いがないか
 2. 納品されたものに汚損、破損等はないか
 3. 納品書の記載と納品されたものに相違がないか
 4. 金額等に不審な点はないか

以上が完了したら、
検収入力(受入入力)処理

2. 資料収集業務の実際

2-4. 個々の処理 (4) 支払

財務会計システムで直接、
発注～検収～債務計上
の処理をする大学もあります。

- 検収入力(受入入力)したデータをもとに支払処理
 1. 図書館業務システム上での「支払処理」
 2. 「支払処理」したデータをもとに、財務会計システムで「債務計上処理」
 - 大学本部での処理を経て、業者へ入金される。

支払に必要な書類も、
大学や取引額などによってさまざま。
各大学の会計規則に従う。
(納品書のみ、請求書も必要、など)

2. 資料収集業務の実際

2-4. 個々の処理 (5) 資産登録

昔＝冊子体
現在＝データ管理

- 支払処理が完了したら、資産登録＝資産額の計上＋資産台帳(図書原簿)への記帳

<記録内容>

1. 登録番号(＝バーコードラベルの番号)
2. 書名など
3. 金額(購入価格/寄贈評価額)
4. 取得日
5. 取得方法(購入/寄贈、財源)

除却した場合も資産額の減少を計上＋資産台帳への記帳をする。
(レコード抹消ではなく、除却したことと年月日を記録)

本日本話すること

大学図書館における雑誌を除く資料収集業務について

1. 資料収集業務の位置づけ

2. 資料収集業務の実際

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

1. 資料費の厳しい状況
2. 電子ブックの導入本格化
3. 蔵書構築・蔵書管理方針の再編成

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3-1. 資料費の厳しい状況

要因

- 図書館予算の減少
- 電子ジャーナルの価格高騰が資料費を圧迫

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3-1. 資料費の厳しい状況

10年間の推移

大学総経費に占める図書館資料費 1.6% → 1.1% に減少

// 図書館運営費 2.1% → 1.3% に減少

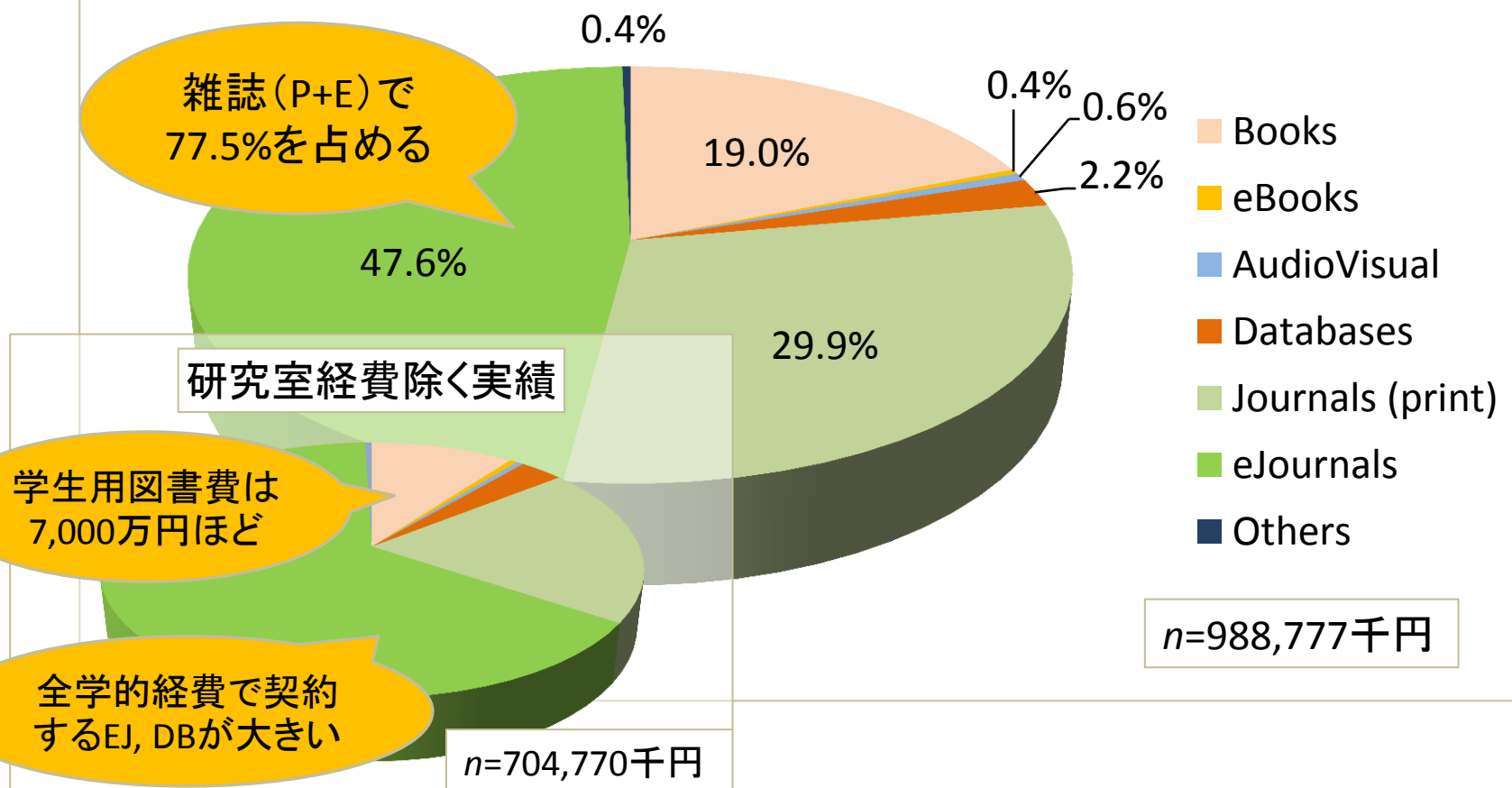
区分	会計年度	国立大学	公立大学	私立大学	計	指数
10. 図書館資料費 (百万円)	1999(H11)	26,007	5,663	51,957	83,627	100
	2007(H19)	21,728	3,641	49,404	74,773	89
	2008(H20)	22,134	3,677	48,754	74,565	89
	2009(H21)	22,793	3,551	48,130	74,474	89
21. 大学総経費に占める 図書館資料費の割合	1999(H11)	1.3%	1.9%	1.8%	1.6%	100
	2007(H19)	0.9%	1.2%	1.3%	1.2%	75
	2008(H20)	0.9%	1.0%	1.3%	1.1%	69
	2009(H21)	0.9%	1.0%	1.3%	1.1%	69
13. 図書館運営費 (百万円)	1999(H11)	25,267	8,676	75,231	109,173	100
	2009(H21)	19,835	4,466	62,339	86,640	79

文部科学省 「学術情報基盤実態調査 -結果の概要」(平成22年度) から抜粋
http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/1266792.htm

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3-1. 資料費の厳しい状況

大阪大学 2010年度資料購入費実績



3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3-1. 資料費の厳しい状況

- 図書館予算の減少
- 電子ジャーナルの価格高騰による、資料費の圧迫



大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)
平成21年7月 文部科学省 学術情報基盤作業部会

- ・効率的、戦略的な資料収集
- ・予算の獲得
(学内戦略的経費、外部資金)

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3-2. 電子ブックの導入本格化

■ 2011年SCREAL調査 <http://www.screal.jp/>

- ・教員、研究者、博士課程後期大学院生の動向
「電子ジャーナルは研究の日用品となり、
電子書籍も使われ始める」

■ 日本語の学術書 & 機関向け市場の活性化

- ・「NetLibrary」(紀伊国屋総代理店)
- ・「JapanKnowledge」「東洋文庫」「新編 日本古典文学全集」etc. +++...
- ・2012/1/30 Maruzen eBook Library オープン

競争→使い勝手の向上

フォーマット互換標準化

■ 経済産業省 「コンテンツ緊急電子化事業」

出版社参入の敷居を低く

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3-2. 電子ブックの導入本格化

■ 海外の動向

- JISC national e-books observatory project

<http://observatory.jiscebooks.org/>

- Springer社「電子ブック白書」

<http://www.springer.jp/librarian/introduction/ebook.php>

- Elsevier社

「The Importance of eBooks in 2011 and Beyond」

http://asia.elsevier.com/asiamailings/Lionel/Ebooks_Forum_Thailand_Brenna_Coffey.pdf

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3-2. 電子ブックの導入本格化

■ 導入にあたっての課題

- 利用しやすさの面でメリット/デメリット、適/不適
- ナビゲーション（入口があちこちに。Discoveryサービス）
- 利用者の環境（ネット接続環境、デバイス）

（実証実験の例）

慶應義塾大学メディアセンター

「電子学術書利用実験プロジェクト」

<http://project.lib.keio.ac.jp/ebookp/>

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

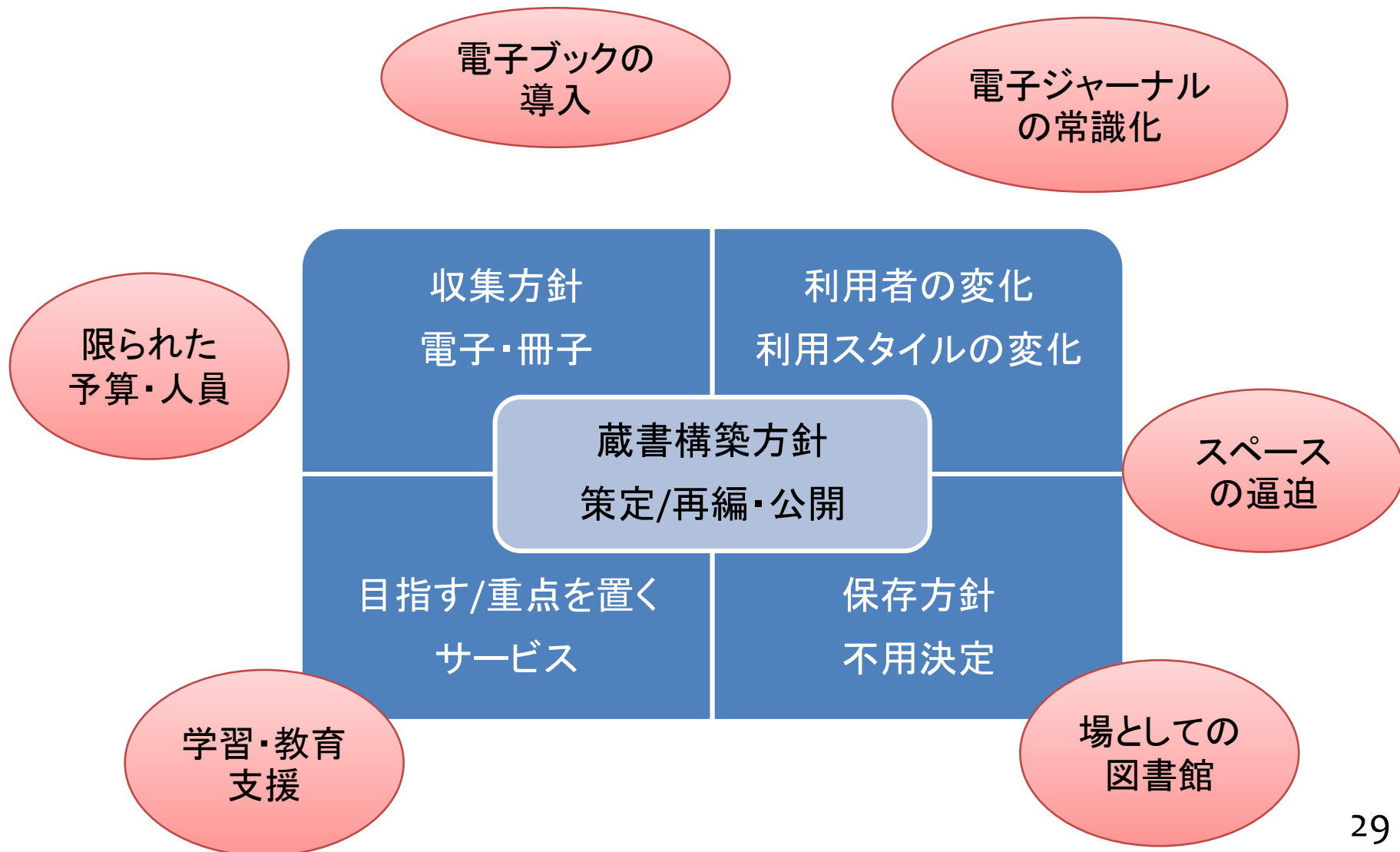
3-2. 電子ブックの導入本格化

■ 導入にあたっての課題（続）

- 冊子体の書籍とは異なる購入（契約）形態
 - 単冊/パッケージ契約
 - アクセス数（予算の出所に関わらず大学単位）
 - 買切り/年間購読/買切り＋年間維持費
- 電子ジャーナルとも違う特殊性
 - 雑誌＝年間で予約伺い ⇔ ブック＝使いたい時、すぐに
- 一般個人向けの電子書籍と機関向けとは別モノ

3. 資料収集業務をとりまく環境と変化

3-3. 蔵書構築、蔵書管理方針の再編成



参考文献

- 河合弘志 編『蔵書構成と図書選択 新版』(図書館員選書・4)
日本図書館協会 1992年 283p. ISBN: 4820491202
- 馬場俊明 編著『図書館資料論』(JLA図書館情報学テキストシリーズ II ; 7)
日本図書館協会 2008年 262p. ISBN: 9784820408161
- 井上真琴『図書館に訊け!』(ちくま新書 ; 486)
筑摩書房 2004年 253p. ISBN: 448006186X
- 湯浅俊彦『電子出版学入門 : 出版メディアのデジタル化と紙の本のゆくえ』改訂2版
出版メディアパル 2010年 126p. ISBN: 9784902251203
- 西田宗千佳『iPad vs.キンドル : 日本を巻き込む電子書籍戦争の舞台裏』
エンターブレイン 2010年 238, xvp. ISBN: 9784047264304
- 同『電子書籍革命の真実 : 未来の本 本のミライ』
エンターブレイン 2010年 239p. ISBN: 9784047269842
- 文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会
「大学図書館の整備について(審議のまとめ) : 変革する大学にあって求められる大学図書館像」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm
- 加藤信哉「大学図書館と電子ブック : CA1648動向レビュー」カレントアウェアネス No.294 (CA1640-CA1649) 2007.12.20 <http://current.ndl.go.jp/ca1648> (2011/04/22参照)
- 同「電子書籍と大学図書館」2011.1.27 東北大学機関リポジトリ TOUR
<http://hdl.handle.net/10097/49390>